

人とドローンが共生する未来社会の実現をめざし ドローンの社会実装に貢献していきます

一般財団法人 総合研究奨励会 日本無人機運行管理コンソーシアム 代表 鈴木真二

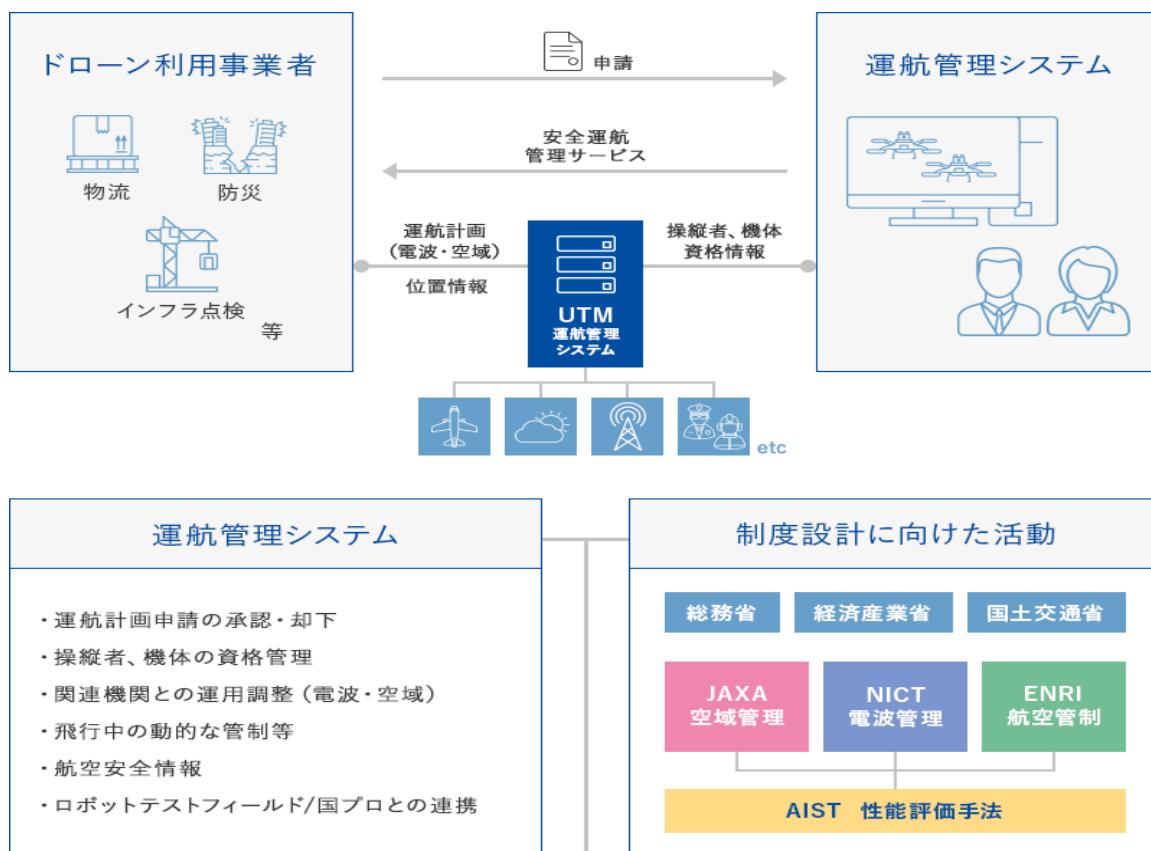
■ 理念と目標

JUTMはドローンをはじめとする無人機の社会実装に必要な施策や、社会基盤整備のあり方を検討・情報発信する勉強会を承継して2016年に一般社団法人総合研究奨励会に設立したコンソーシアムです。JUTMは無人機の社会実装に係る各種施策実現の支援と事業化を推進するための実行組織として活動し、
**新たな産業空間「人とドローンが共生する未来社会」を創造して
空の産業革命の推進するとともに、世界各国で取り組んでいる
UTM※が目標とする「国際標準化」を推進することによりDXへの
対応とグローバルな産業競争力の確立を目指しています。**

※UTM:Unmanned aircraft systems Traffic Management



JUTM代表
鈴木 真二



国際標準化活動 (ISO、ICAO、GUTMA等)

- JUTMでは国際標準・エコシステム、電波調整、社会実装の各ワーキンググループ (WG) を設置するとともに、福島ロボットテストフィールドを活用した実証実験で評価を行い、「小型無人機に係る環境整備に向けた官民協議会」を始め、国の政策へ提案を行っています。
- 国際の場においてはISO/TC/20/SC16 WG 4 (ISOの中のUTMを検討するWG) のリーダーをはじめ、GUTMA (Global UAV Association) 、ICAO Drone Enable等でも認知されており、運航管理システムや関連するサービス、リモートIDに関する国際標準化に関する活動も推進しています。

■組織



※1 旧運航管理WGと旧国際標準・エコシステムWGを1つに統合して本WGとなっております

※2 JUTMは総務省がロボット用電波として制度化した無人移動体画像伝送システム（5.7GHz帯, 2.4GHz帯, 169MHz帯）の運用調整団体として活動しています

区分	氏名	所属機関等
代表	鈴木 真二	東京大学
幹事	牧浦 真司	ヤマトホールディングス(株)
幹事	神山 敦好	(株)SUBARU
幹事	宮武 唯成	(株)日立製作所
幹事	山田 和宏	(株)NTTドコモ
幹事	久保 哲也	ANAホールディングス(株)
幹事	上田 貴之	日本郵便(株)
幹事	浅間 一	東京大学
幹事	土屋 武司	東京大学
幹事	羽田 靖史	工学院大学
幹事	市川 芳明	多摩大学大学院
幹事	神村 明哉	産業技術総合研究所(AIST)
幹事	三浦 龍	情報通信研究機構(NICT)
幹事	原田 賢哉	宇宙航空研究開発機構(JAXA)
幹事	福島 幸子	海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所(ENRI)
オブザーバ委員	鈴木 章文	福島県
事務局長	秋本 修	(株)日立製作所
事務局次長	中村 裕子	東京大学

■ JUTM活動実績

- JUTMは福島ロボットテストフィールドと連携してUTMを活用したビジネスにおけるユースケースを想定した数々の実証実験を実施しています。
- これらの実証実験を通じて得られた知見を基に、ドローンを安全に運航できる運航管理ルールや利活用推進のためのガイドラインなどの制度設計を推進しています。

【運航管理システム基本機能の実証】 【運航管理システムの高度な活用】

【補助者なし目視外飛行の実現】

【パブリックセーフティガイドライン策定】



※2020年度は新型コロナウィルス感染防止対策のため、実証実験に代わりWebセミナーを開催

- 今後は協調領域の基盤整備を推進することにより、ドローンを活用した新産業・イノベーションの創出とあわせて、多発する大規模災害、少子高齢化・労働力不足や地方創生等の社会課題を解決する手段としてドローン利活用を推進する以下の活動に取り組みます。
 - ✓ UTMを活用した分野別運用ガイドライン策定によるドローン利活用事業の推進
 - ✓ リモートID、UTM及びUTM関連サービスの国際標準化への対応
 - ✓ データ流通・利用アーキテクチャの検討によるSociety5.0の推進

■現在の会員数(2021年8月時点)

正会員:137者 賛助会員:428者 オブザーバ会員:59者

総数 : 624者